

離任された先生より

はい！では、忘れ物点検から始めます。教科書・ノート・ワーク・ワークの答え、忘れた人借りた人は居ませんか？

このセリフを聞いて、懐かしいなあと思い出してくれた人はどれくらい居るのでしょうか。お久しぶりです。上月です。上月彩花です。大蔵中学校の上月です。

ある日、新しい学校の自分の机で仕事をしていると、大きめの封筒が届きました。何かな？と開けてみると、たくさんのメッセージカードが入っていて、びっくりしました。表には、「時間の空いている時に見てください。」と書かれていましたが、一刻もはやく見たくて見たくて・・・。

一枚ずつ読んでいきながら、これいつ書いてくれたのかな？と。

4月はじめの2日だとしたら、あんなにバタバタしたときに時間を作ってもらえたのかと感謝し、もし臨時休業中だとしたら、こんな状況のなか書いてくれたことに感動しながら読んでいました。

内容としては、その瞬間をパッと思い出せるものも多く、あっという間に読んでしまいました。(これを書くまで3回は読んだかな？)

書かれた内容のなかで一番多かったのは、「厳しくて～」とか「厳しいこともあったけど～」とか「厳しかったけど、優しさもあって～」とか。(嫌な思いをさせてしまっでごめんなさい。ただ、そのことから何かを学んでもらえていたら、教師としてはうれしいものです。)

次に多かったのは、数学のことが多かったです。ちなみに、1年のときにした体積の実験？で使ったものは、レモンティーではなくストレートティーだったことをお伝えしますね。

あとは、委員長会のことや吹奏楽部のことなど・・・。

それ覚えててくれたの？と思ってしまうエピソードを書いてくれている人もいましたね。

(「真面目にしてたら植物が成長する！」 元1-1の人、私、これ言いましたか???)



読めば読むほど、あと1年間、みんなと一緒に過ごしたかったなあと考えてしまいます。みんなは嫌かもしれませんが、みんなと一緒に卒業式を迎えたかったです。そんなみんなに、“努力はいつか花開く”という言葉を送ります。その花は小さい花、大きい花、白い花、カラフルな花、ひとそれぞれ、自分にしか咲かせない花を咲かせてくださいね。そのためには、大きなストレスを抱えないほうがいいですよ。心が悲鳴をあげる前に、自分の心の声に素直になってみてくださいね。
では、またどこかで。